

「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」 レポート課題

1. 提出期限

2018 年 7 月 2 日（月）「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」の授業時。7 月 2 日の授業時以前に提出する場合は、2 号館 7 階エレベーターホールにある上野のメールボックスへ投函するものとする。

2. レポートの内容

過去 1 年間（2017 年 7 月 1 日～2018 年 6 月 30 日）に公表されたロシア・ユーラシア地域（旧ソ連地域）の歴史または現代政治、あるいは日本との関係に関する報道を 1 つ取り上げ、それに対するコメントを書く。

コメントは、報道の客観性・中立性または恣意性、報道のステレオタイプ（型にはまった考え方）またはバイアスの有無、見出しと記事内容の不一致、記事内容の間違い、などの指摘および意見とする。報道されている事件そのものに対するコメントではない。

取り上げる報道は、紙媒体のほか、Web 上で公開されているものでもよい。ただし、Web 上で公開されている報道については、個人のブログ等と見分けがつかないものもあるので、①新聞・雑誌等の紙媒体を発行している新聞社・出版社、②テレビ・ラジオ等の放送をおこなっている放送局、③新聞社等にニュースの配信を行っている通信社（たとえば、ロイター、UPI、時事通信、共同通信など）、の運営する Web 版ニュースに限定する。

取り上げる報道の言語は、日本語、英語、ロシア語のいずれかとする。

以下は、最近の報道に対するコメントの例である。

2018 年 5 月 7 日に公表された「ロシアで反プーチンデモ、野党指導者ら 1600 人拘束」という見出しのロイターの記事では、「ロシアのプーチン大統領が 7 日に通算 4 期目の就任式を迎えるのを控え、野党指導者ナワリヌイ氏が呼びかけた反政権デモが 5 日、首都モスクワなどで開かれた。当局はナワリヌイ氏の他、デモ参加者約 1600 人を拘束した」ことが伝えられているが、逮捕理由が明示されておらず、読者は、見出しなどから「反プーチン」が逮捕理由であると推測することになり、報道として不十分である。また、記事の最後に、「3 月の選挙でプーチン氏は、圧倒的な得票率で勝利した。2024 年までの 6 年間の任期を全うすれば、首相時代の 4 年間も含め、ほぼ四半世紀にわたり権力を掌握することになり、ソ連時代のスターリンに次ぐ長期支配となる」とあるが、アレクサンドル 2 世の在位は 1855～81 年の 26 年間、ニコライ 1 世の在位は 1825～55 年の 30 年間など、ロシアでは四半世紀以上の長期にわたる在位の例は他にもあるため、「20 世紀以降で」といった限定のない「スターリンに次ぐ長期支配」との指摘は誤りである。

<<https://jp.reuters.com/article/russia-protests-idJPKBN1I70YI>>

3. 執筆要領

(1)体裁

白色 A4 用紙を用いる。必ず左上をステープラーで綴じる。

(2)使用言語

日本語とする。ただし、固有名詞など一部分に英語またはロシア語を使用するのはかまわない。

(3)内容

①用紙 1 枚目

ワープロ横書き、40 字×40 行とする。1 行目に学生番号と名前を書き、それに続いて、取り上げた報道に対するコメントを書く。

コメントは、最大で 40 字×39 行（1560 字）とする。つまり、学生番号、名前、コメントをすべて 1 枚に収めること。

②用紙 2 枚目（複数枚にわたる場合は 2 枚目およびそれ以降）

取り上げた報道のコピーとする。報道のコピーに、報道の出所である新聞社名（出版社名、放送局名、通信社名）、日付、アドレス（Web の場合）を明記すること。コピーが A4 サイズよりも大きい場合は A4 サイズに折りたたむこと。Web ニュースについては A4 用紙にそのままプリントアウトしたものを添付すればよい。

以上